

ミストリアム プリムとベルフレアの物語

おい！
プリム！

こりや！
聞いとるか？

何じゃ
この
点数は！

追試じゃ！

はは…
はい！

いい加減
解放してよ



そうかしら？
目立ってて
いいじゃない

でもさあ…
こうして
結果が貼り
出されてる
わけだし

…まったく
なんて相棒
だろうね

最下位は
さすがに
マズイよ

ふふふ



ふいー

説教
長すぎ！

自業自得
だよプリム

お黙り
クソ帽子！

焼くわよ！



あたしが
ワースト
一位なら

本当の
一位は
誰かな？

って…
決まってる
けどねー

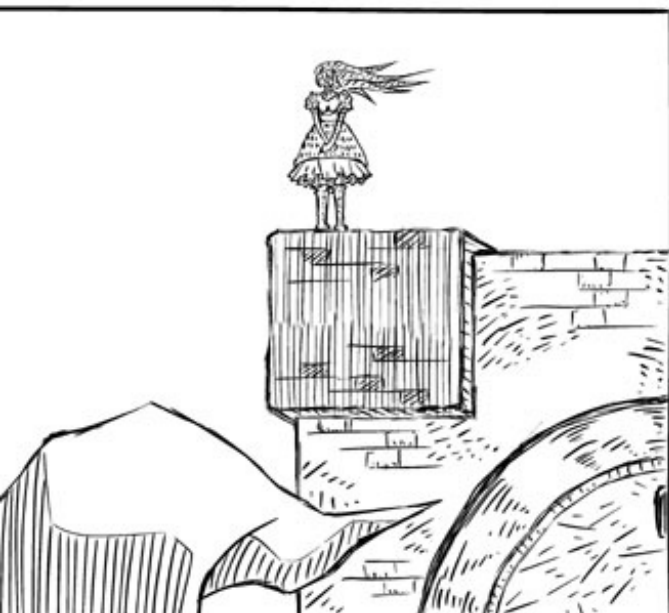
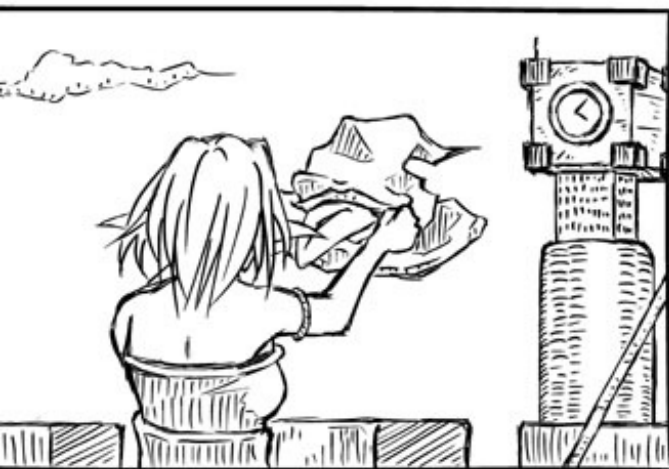
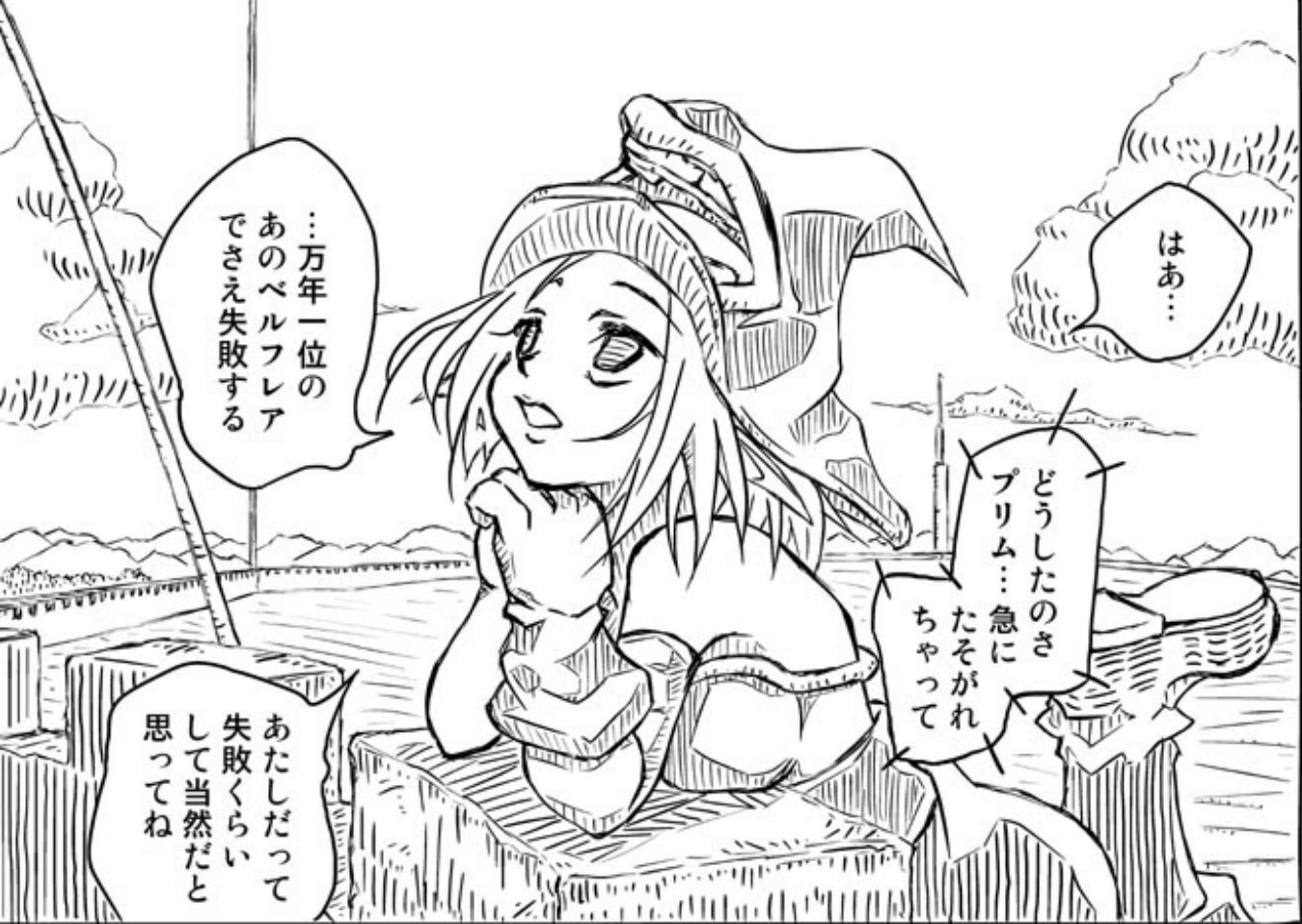


…えっ!?

ベルフレアが
…二位？

嘘でしょ？

1. アメリ・ス
2. ベルフレア
3. ルシオラ





ちよちよっひよ
待っひやプヒフ
待っひや!

ああ?



…時計塔の
上に…誰か
いるみたい

全方位
感知可能

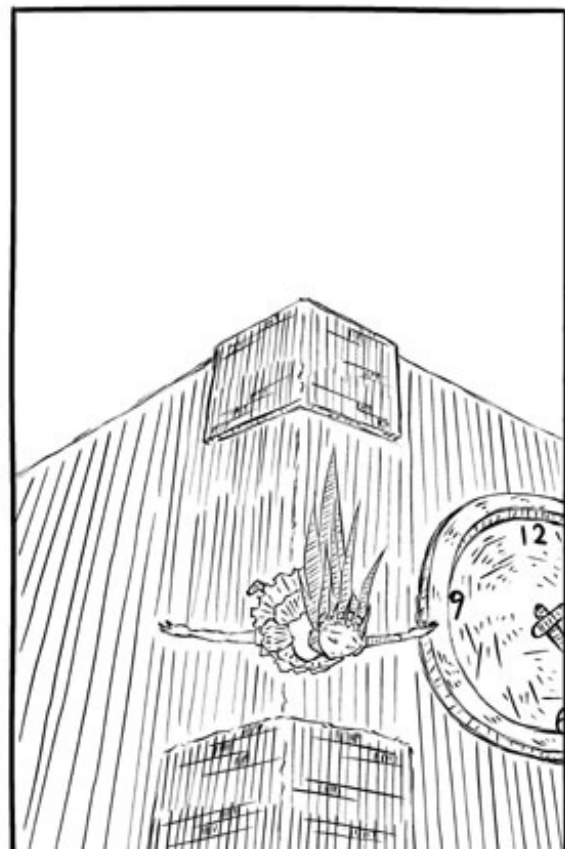
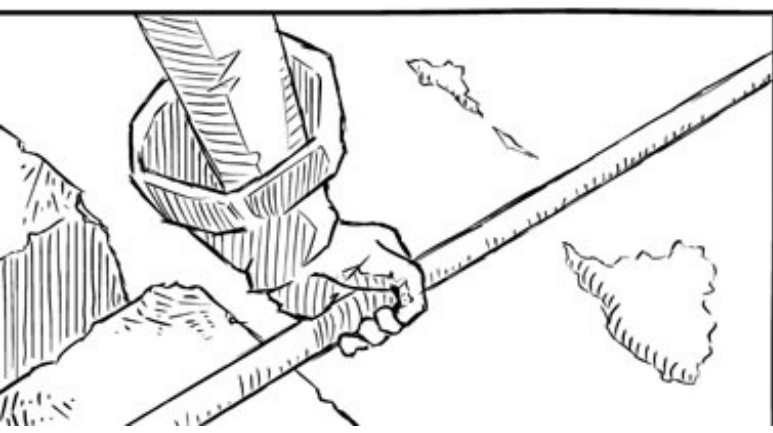


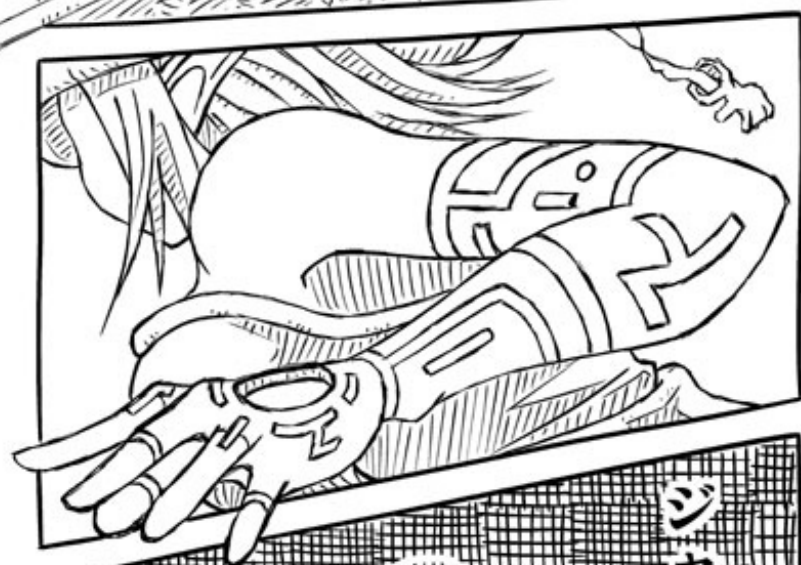
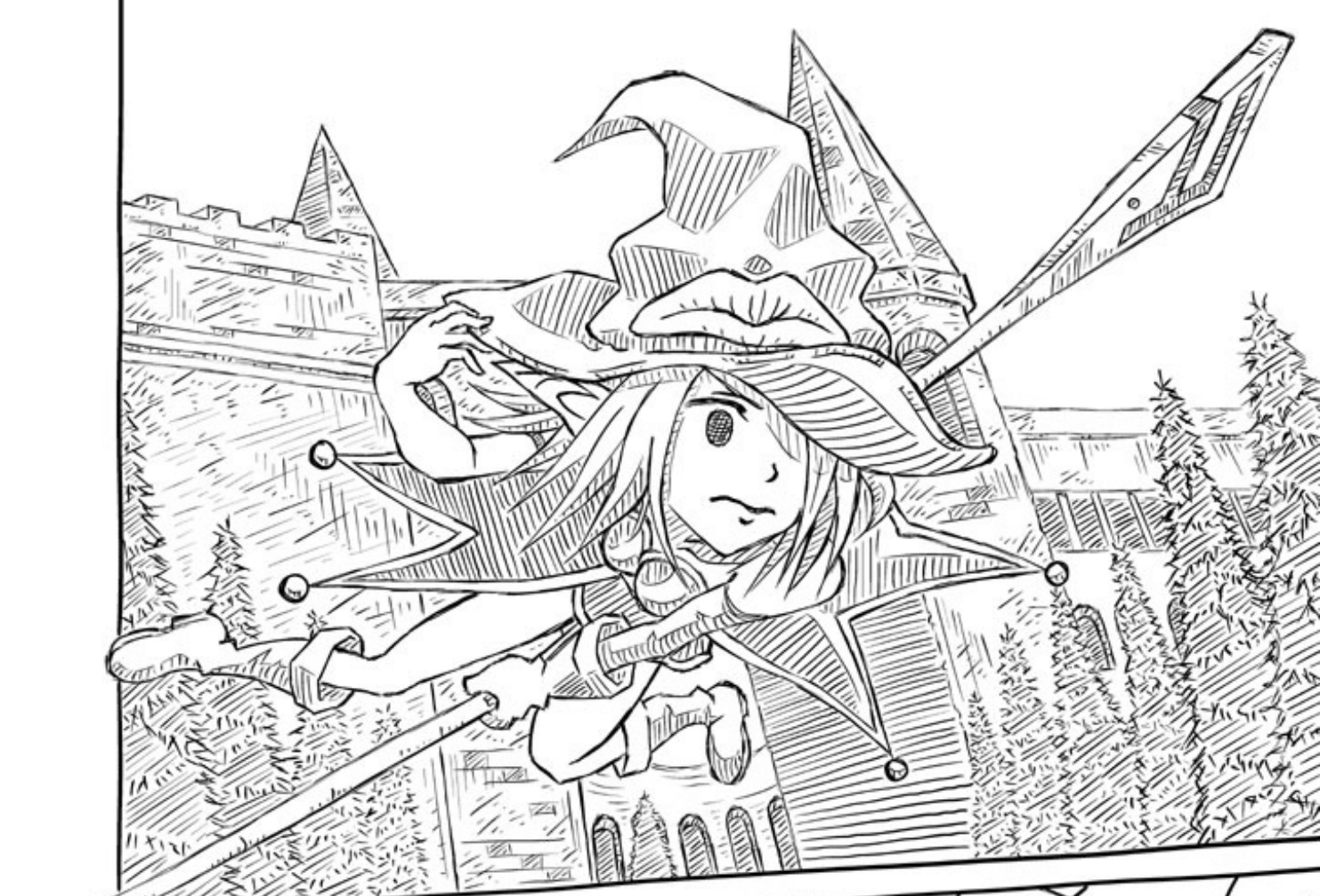
ほら
見て!
塔の上!

はあ?

ちよちよ









優しく
つかまないと
潰れちゃうよ
プリム!

わかってる!

巨人の腕



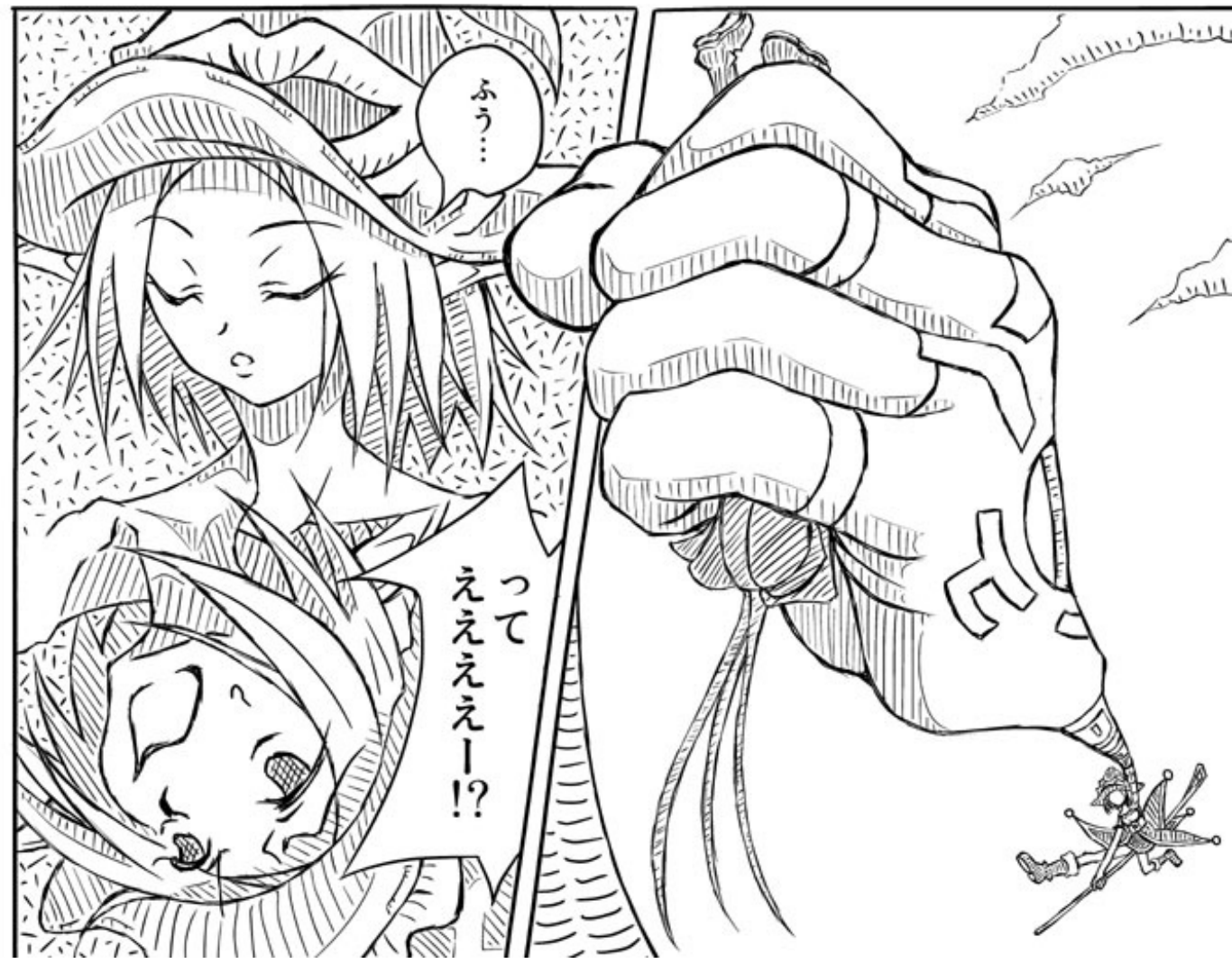
いけえ

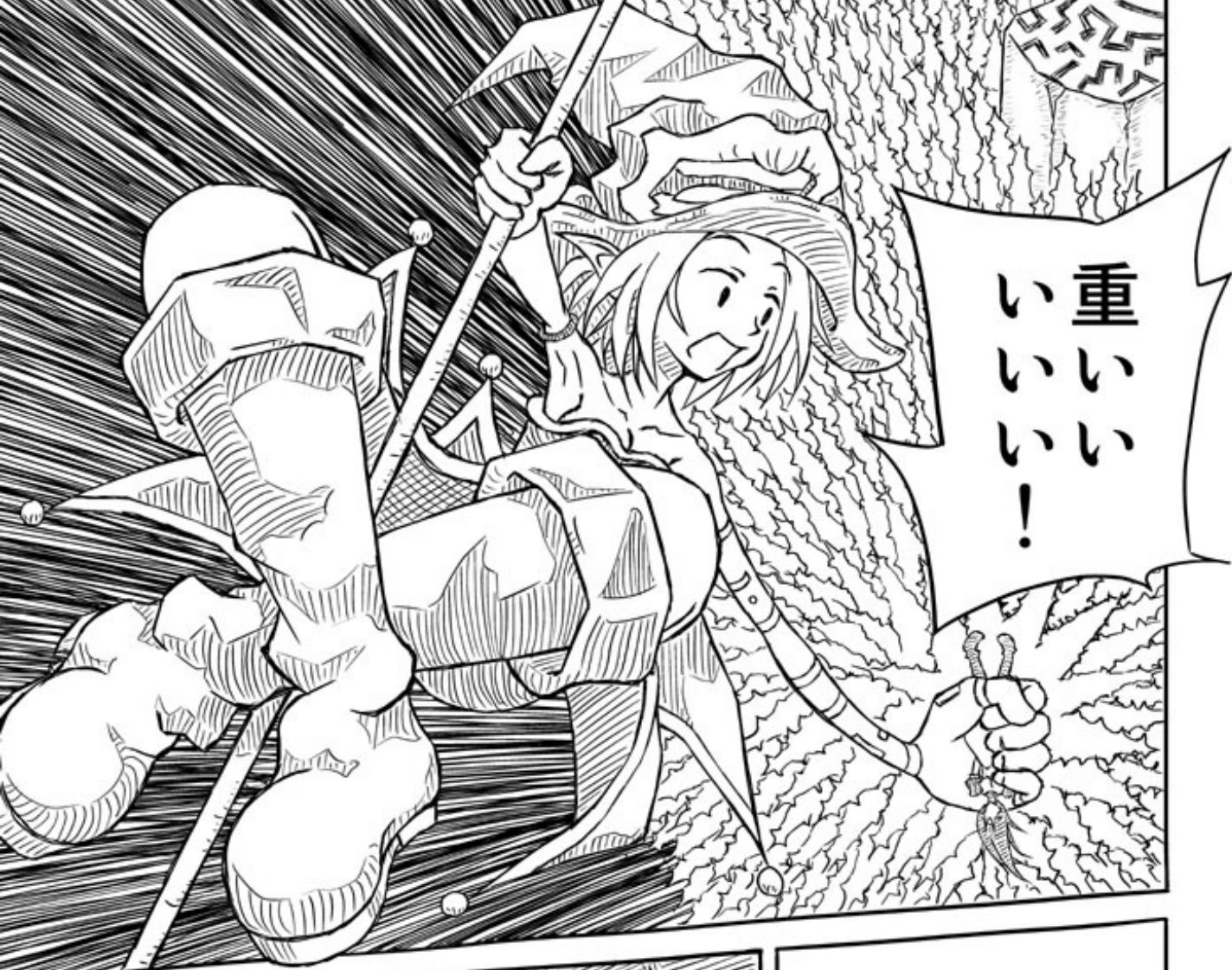
ええー!



ふう…

って
ええええー!?









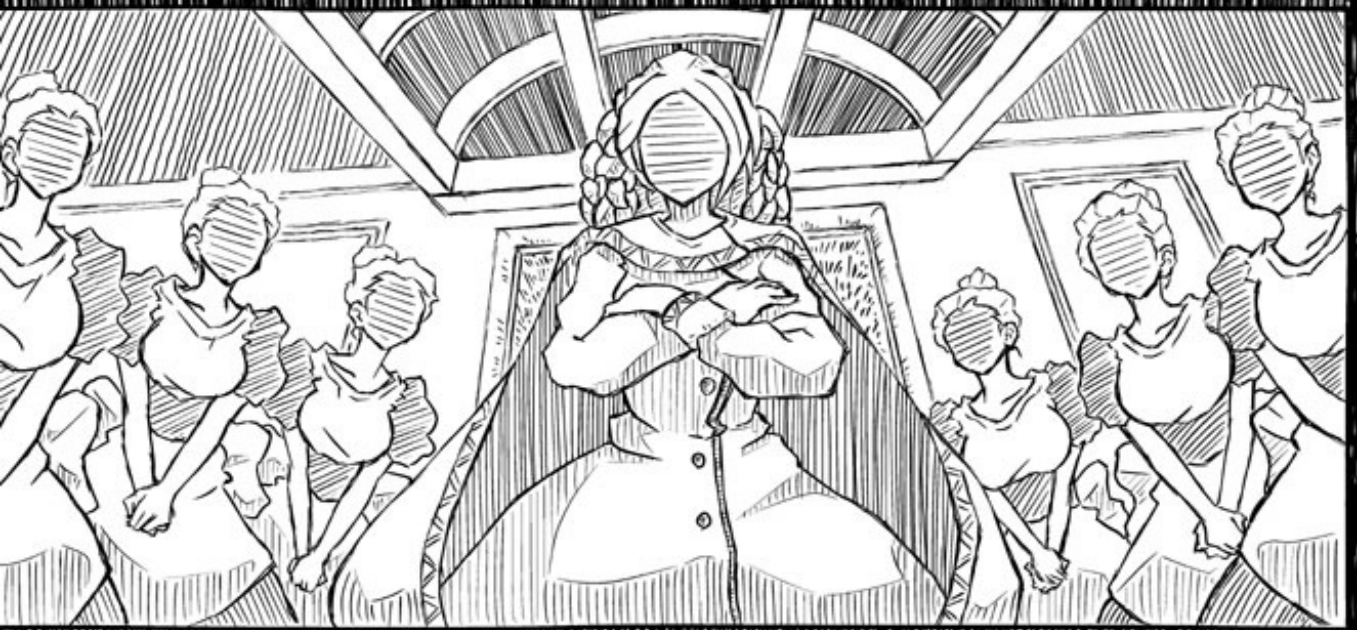
お許しを…
お母様

はい…
すみません



一位じゃ
なかった

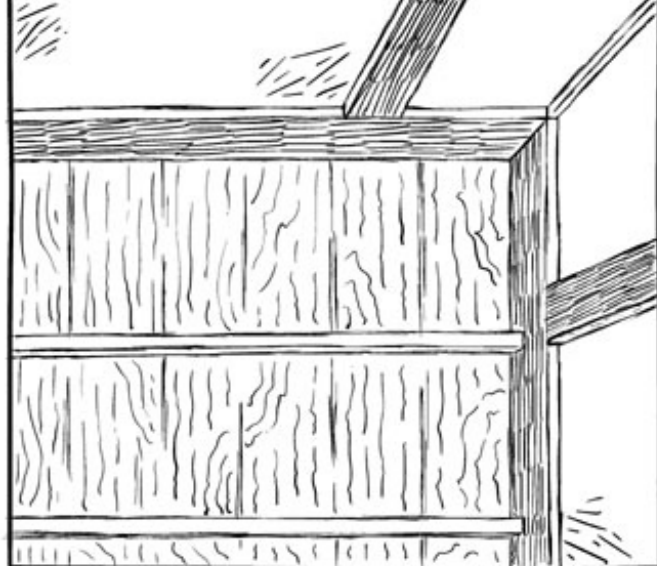
そう
言った？



面汚しが！



由緒ある
我が
ゴート家
の…



あれ？

……

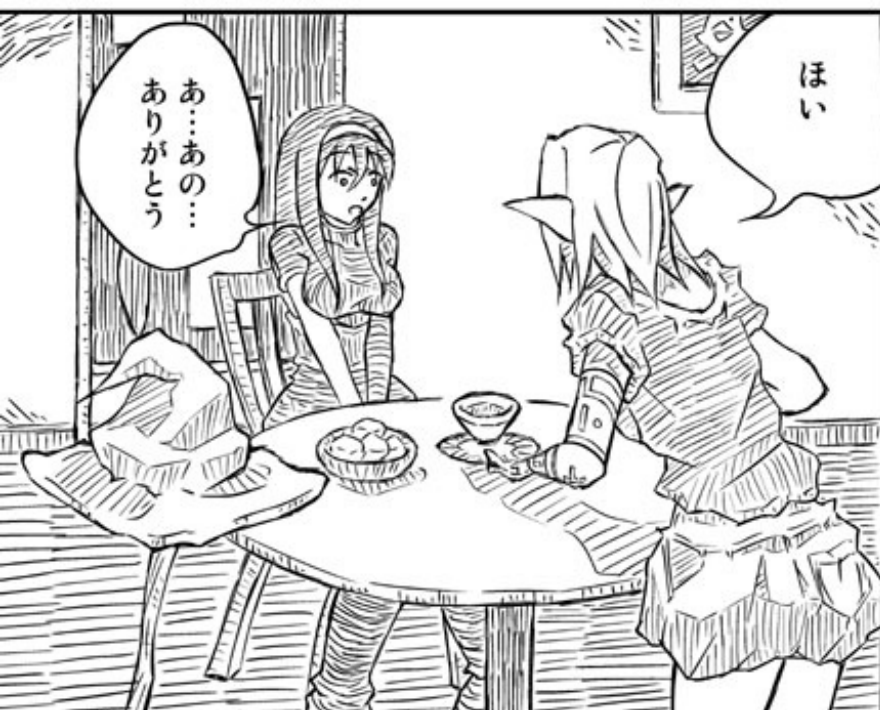
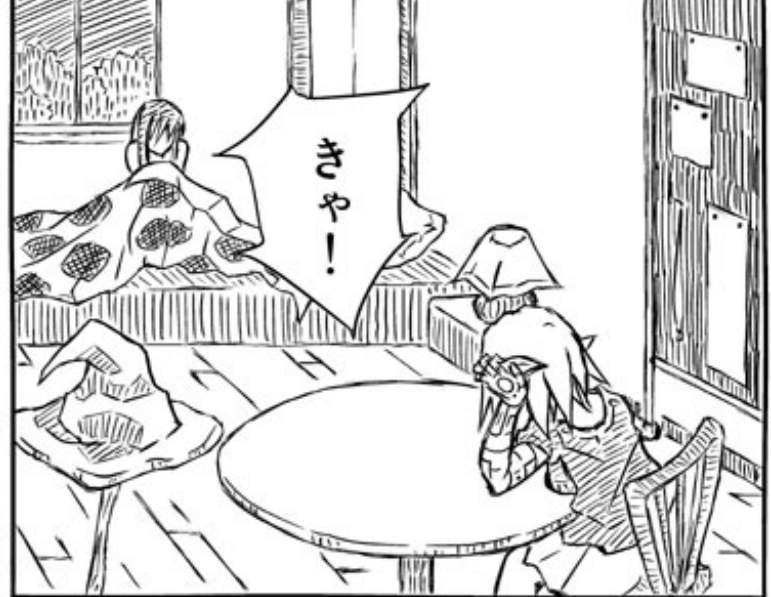


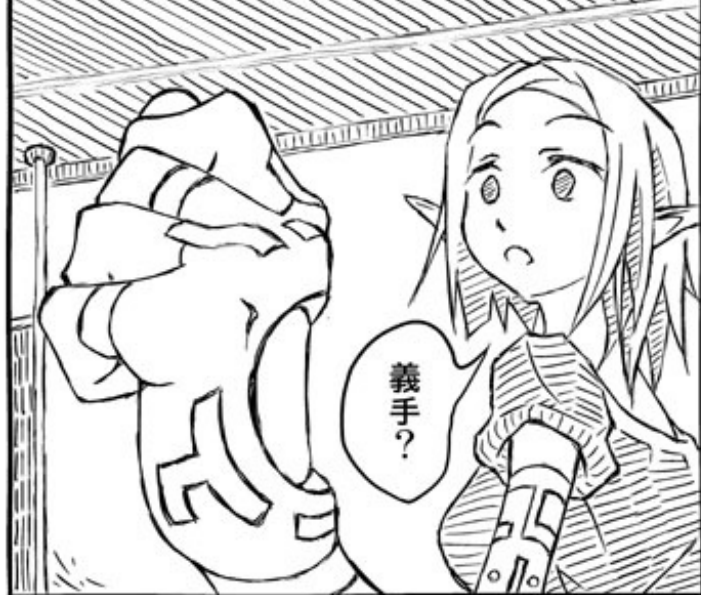
え？

お目覚め
みたいね

起きたよ
プリム

わたし…







ゴート家の
令嬢が
行方不明に
なっており

依然安否が
心配されて
おります



死んじゃ
駄目

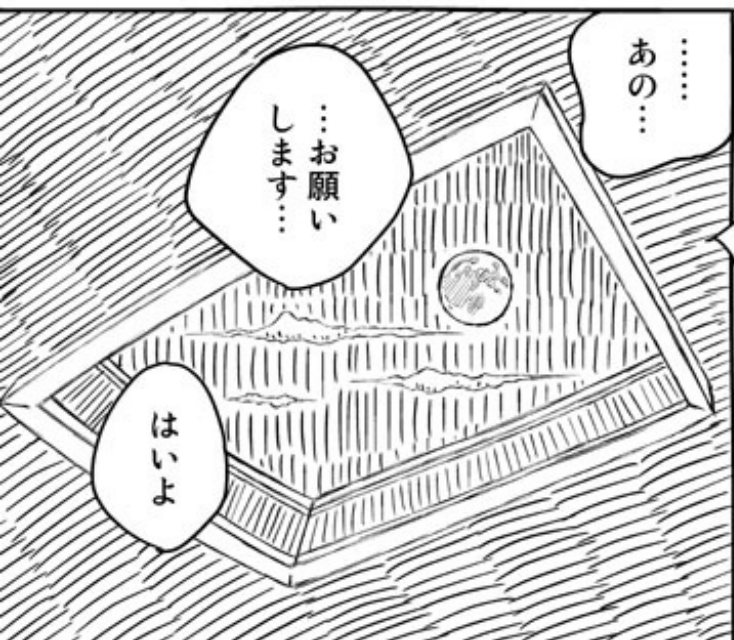
ちゃんと
帰りなよ



そうだった…
わたし…
死のうと…

まだ生きてる…
どうしよう…
死なないと…

お母さまに…
会いたくない…



…お願い
します…

はいよ

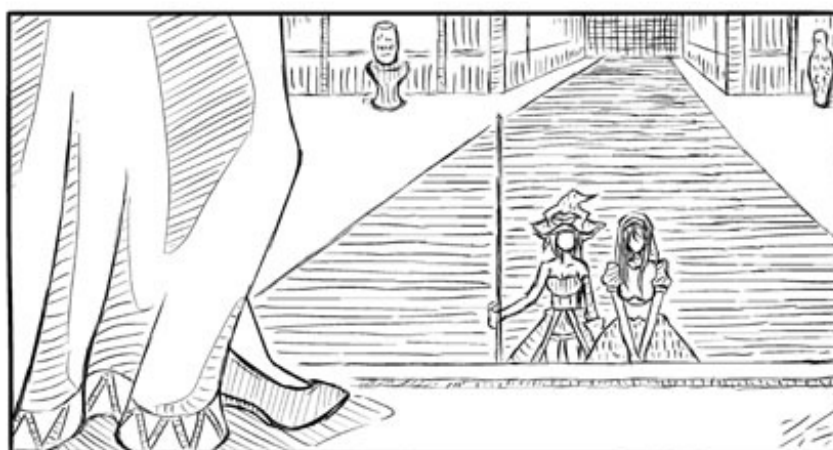
…
あの…



あたしが

え!?

ついてって
あげよか?





あげろ!



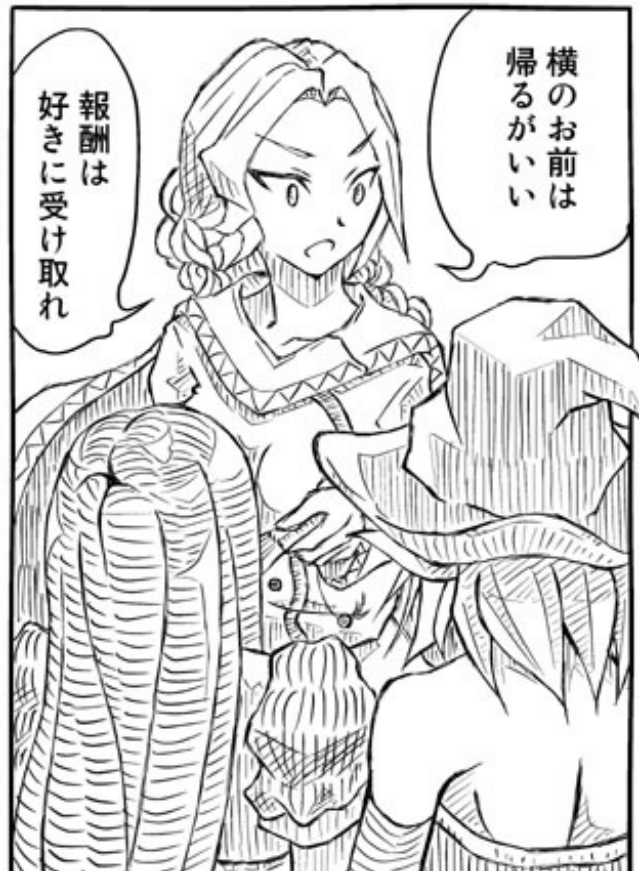
顔を...



おい豚

どれだけ
わたしに
恥をかければ
気がすむ

ん?



横のお前は
帰るがいい

報酬は
好きに受け取れ



プリム!



ベルフレアに
酷いこと
してみやがれ

呪い殺す

禁呪で



やば

完全に
逆効果
だよ…

プリム…

余計な
こと
したかな？



なっ!?

ほぎくな
エルフ!

許さんぞ!



か 彼女には
わたしの部屋でキツク
言っておきますので
どうかお許しを…

ここれで
失礼します!



あんなに…
なんて馬鹿な
ことを…

プリムは、
狼狽していた

なぜ？

他人に自分の
生まれのままの
姿を見せること

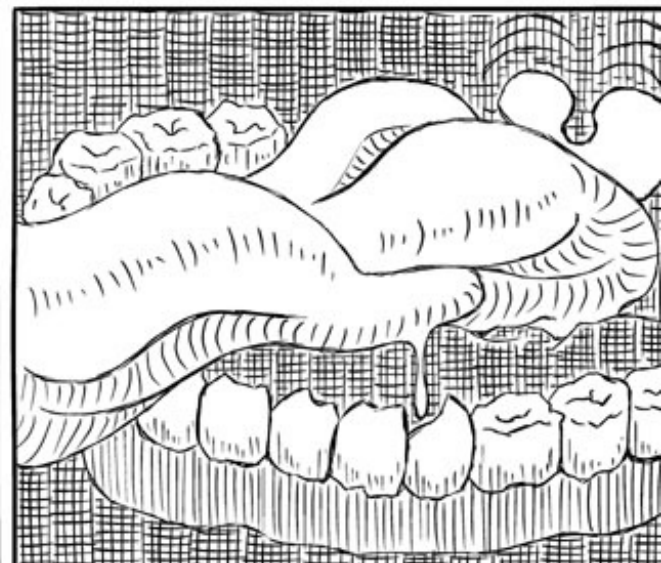
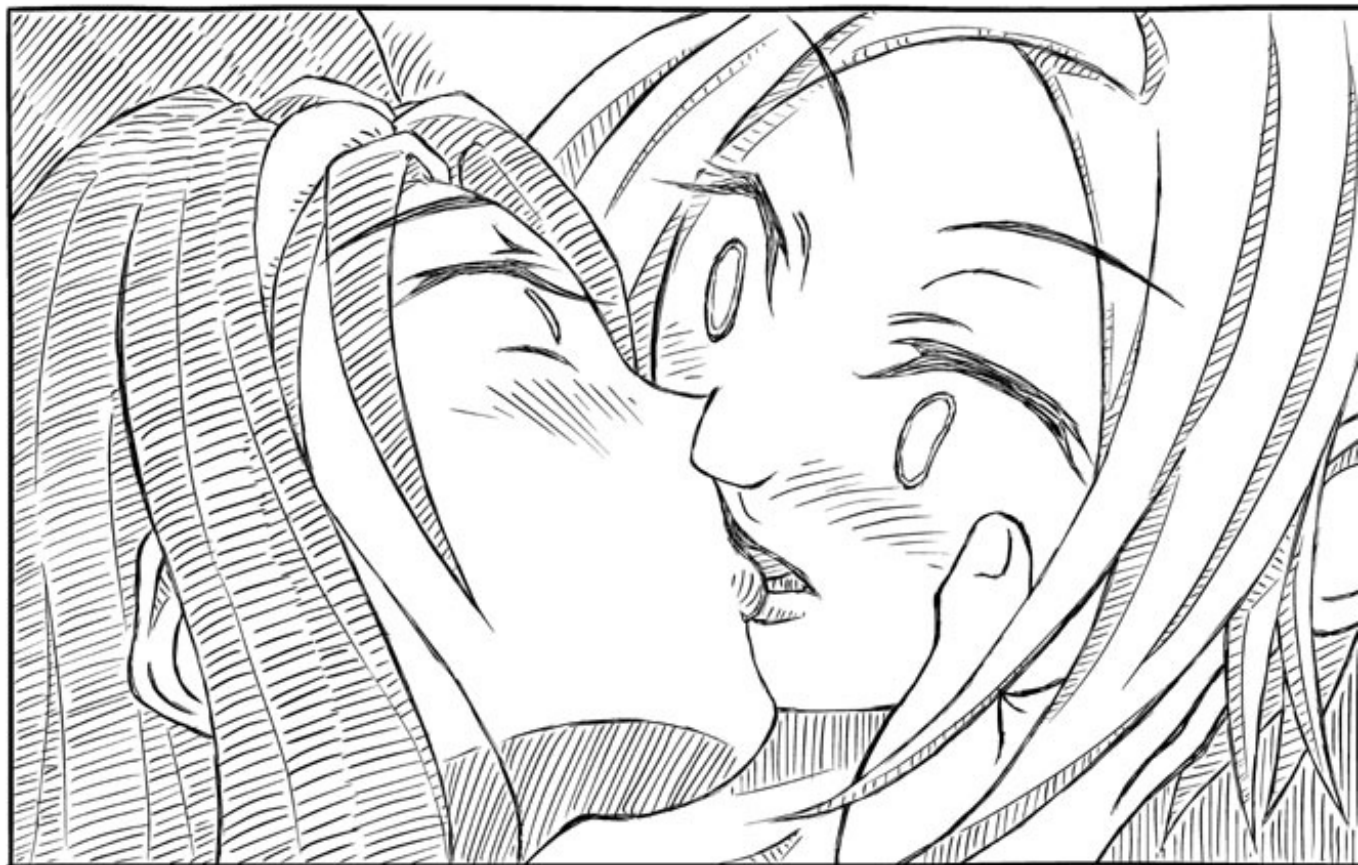
それは

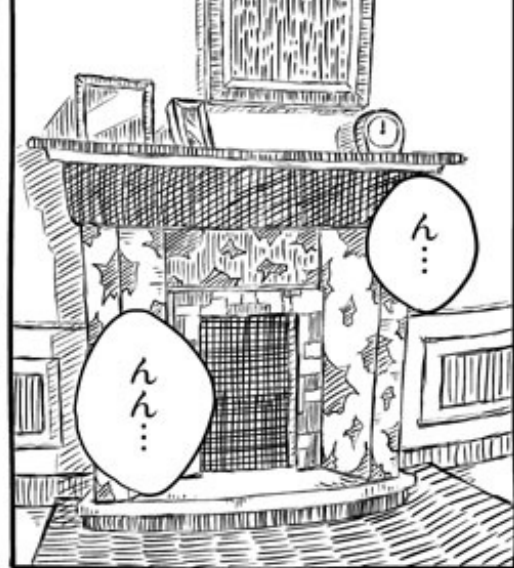


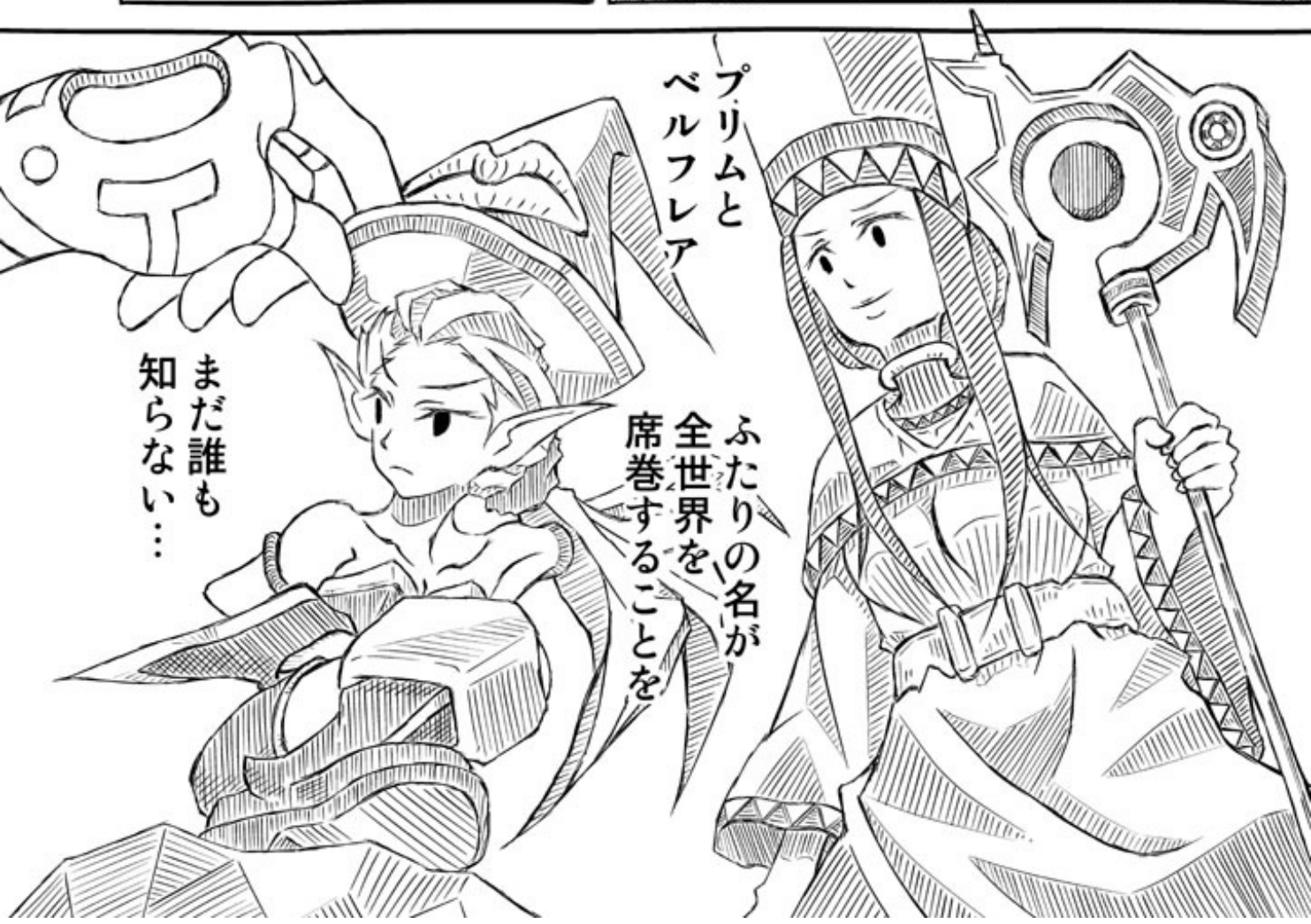
.....

相手に
従属する形で
自分の一生を
捧げるとい
う絶対の誓い

意味するために
他ならない







ミストリアム プリムとベルフレアのお話

<http://p.booklog.jp/book/50303>

著者：みるゆ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/miruyu/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/50303>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/50303>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのペーパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社paperboy&co.